



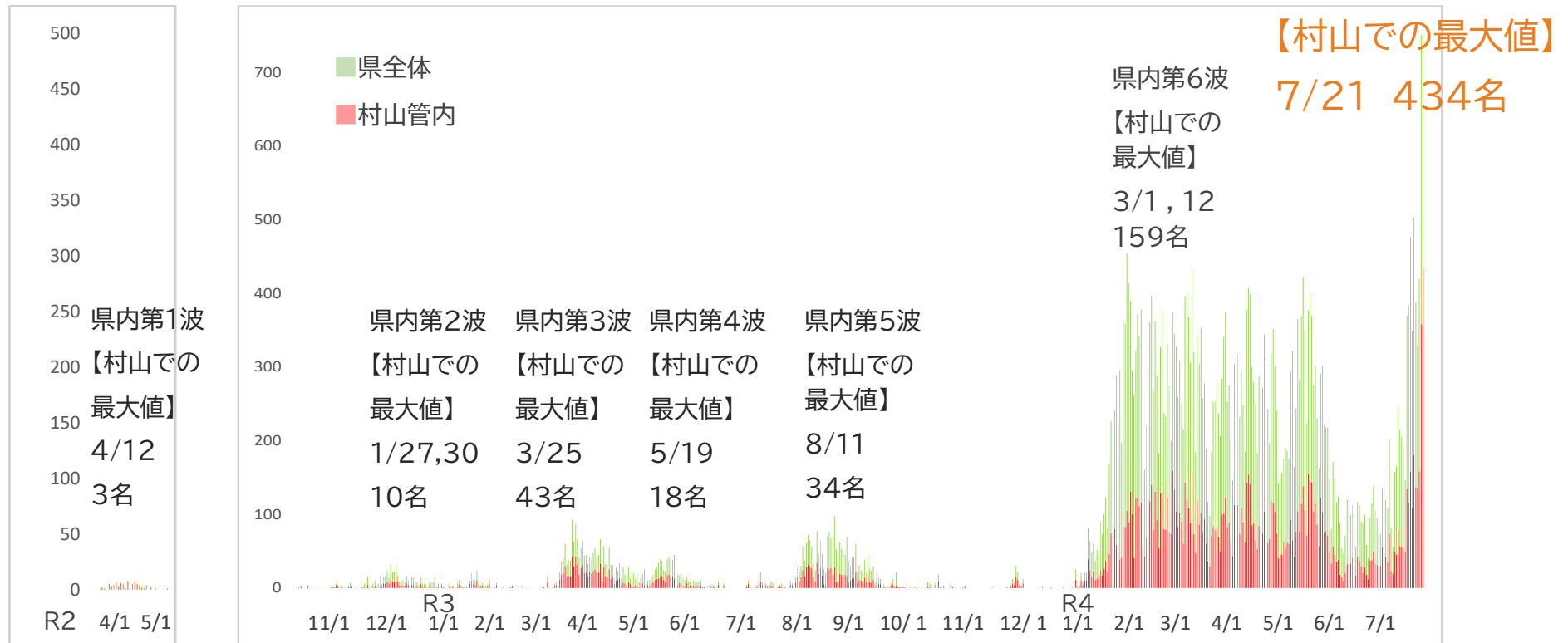
村山総合支庁管内の取組状況等について

令和4年7月26日(火)
村山総合支庁

目次

- 1 管内の新型コロナ等の状況
- 2 園芸振興の取組み
- 3 地域公共交通の取組み
- 4 高速道路開通を契機とした取組み
- 5 地域の話題

1 管内の新型コロナ等の状況



村山管内累計感染者数(R4.7.21現在)

17,321名(村保:8,795名、山保:8,526名)

⇒**県全体の約5割**

うち第6波以降 15,045名(管内累計感染者数の約9割)

療養者の状況(R4.7.21現在)

入院 42名(村保16名、山保26名)

宿泊療養 45名(村保23名、山保22名)

自宅療養 1,777名(村保933名、山保844名)

最近の動向

- 7月12日頃から**感染者が大幅に増加している。**
- 感染者は軽症の方が多く、入院を要する重症者は少ない。

対応

- 高齢者施設における4回目等のワクチン接種の促進
- 保健師による現地指導、検査体制の確保などクラスター対応の強化
- 自宅療養者の電話診療等、医師会と連携した支援体制の強化

1 管内の新型コロナ等の状況

管内事業者における新型コロナ、物価高等の影響

製造業

- 半導体製造装置や工作機械用の部品製造・加工の企業では、高稼働率が継続している。
- 機械器具製造業では、部品が予定通り入荷せず生産に影響が出ている企業もある。
- 原材料等の高騰については、製造機械の消耗品等の副資材や電気料の値上がり分の価格交渉が難しく、利益を圧迫する懸念がある。

新型コロナへの対応

- 事業継続相談窓口(R2.5.12～R4.7.8) 対応件数 2,686件
- 事業復活支援金申請サポート窓口(R4.2.21～6.30) 対応件数 2,176件
- R4中小企業パワーアップ補助金(新事業転換促進支援事業) 採択件数 124件

飲食業

- 客足は戻ってきているが、コロナ禍前には戻っていない。
- 原材料の高騰に加え、光熱費等の高騰にも苦慮
- 価格改定を実施した飲食店があるが、原材料等がどこまで高騰するか見通せないため、改定を見送っている店もある。
- 感染拡大に伴い、夜間営業の飲食店では、団体予約のキャンセルが出始めている。

【運転代行業】

- 夜間営業の飲食店の客足が戻るにつれて売上も回復傾向であるが、コロナ禍前には戻っていない。

観光業

- 宿泊施設・立寄施設ともに、前年に比べ客足は戻っているが、コロナ禍前までには戻っていない施設が多い。
- 客足が戻っている要因として、「夏旅の効果が大きい」との声が多い。また、6～7月にかけては、さくらんぼ狩りの来客の増加も大きい。
- 外国人旅行者については、今後、徐々に増加していくことに期待する声がある。
- 原材料費や燃料費などの価格高騰により経営への影響が大きくなっていると訴えている施設が多い。
- 管内観光地で、7月の3連休の入込は好調であったが、感染拡大を受けてキャンセルが若干出始めている。

2 園芸振興の取組み

村山地域＝県全体の果樹生産額の8割強

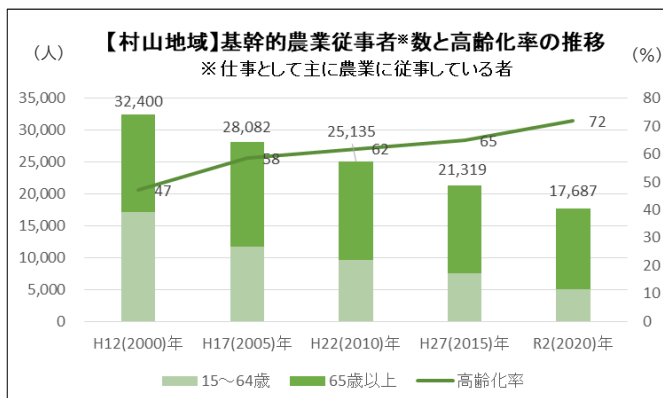
園芸大国やまがたの要を担う

しかし

担い手の
高齢化

担い手の
減少

豪雨・凍霜
害の影響



出典：農林水産省「農林業センサス」

村山の強みである園芸農業の
維持・強化が必要

- 大規模団地化による経営規模の拡大・生産性の向上
- 担い手の高齢化・労働力不足に対応した軽労化・デジタル技術の活用

新たな産地形成・ブランド化により、農業振興のみならず、若者の雇用、観光振興等県の様々な課題解決につなげていく。

村山地域の主要な園芸品目と大規模団地の取組み



2 園芸振興の取組み

ぶどう

団地化の取組みによる営農者の技術向上及び生産性向上



山形市シャインマスカット団地

- 新規就農者を含む6名により栽培。H30(第1期)に新植した苗はR5から本格的に出荷予定
- 栽培者の技術不足等の課題に対し、総合支庁、JA等関係機関が連携し、栽培技術の向上に向け支援



上山市醸造用ぶどう団地

- 県内外の4法人1個人で組織する「かみのやま松沢ぶどう部会」が実施主体となり、R元年から着手。販売額1億円のワインぶどう団地を目指す。
- 水はけやイノシシ被害等の課題があり、排水対策、防護柵の設置支援等を実施

すいか・きゅうり

「尾花沢すいか」における最新機器の導入による省力化・軽労化

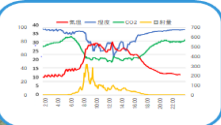


病害発生予測や収穫適期の把握に向けた小型気象観測装置の活用



多工程同時作業機械による省力化・軽労化(施肥・耕うん・かん水チューブ設置、マルチ被覆等)

きゅうりハウスにおける環境モニタリング機器の導入による技術の継承



熟練生産者の栽培技術を「見える化」し、新規栽培者へ技術を継承

さくらんぼ

低温アラートによるさくらんぼの防霜対策等 (気象センサーによる現地のリアルタイムデータ活用)



- 管内38カ所の樹園地に気象センサーを設置
- 登録した会員の端末に低温の通知メール(低温アラート)が配信
→深夜の各園地での気温確認の簡便化

防霜対策の迅速な実施

高齢化、労働力不足に対応した軽労的な仕立て方の導入推進 (「やまがた紅王」とセットでの導入も推進)



平棚仕立て



Y字仕立て

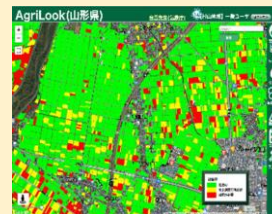


V字仕立て



「やまがた紅王」の令和5年 本格販売に向け、大玉で高品質な果実を生産できるよう、地元やJA等関係機関と連携し、適正着果等の栽培管理をきめ細やかに指導していく。

☆「つや姫」のブランドの維持・向上のためリモートセンシング (衛星画像活用)による栽培管理の普及推進



JA等と連携してモデル地区を設置し、研修会を開催

2 園芸振興の取組み

地域農産物を利用した商品開発



開発支援商品
上:フルーツサンド(ラ・フランス)
下:桃のごちそう(3種の桃ゼリー)

売れる農産加工品の開発支援

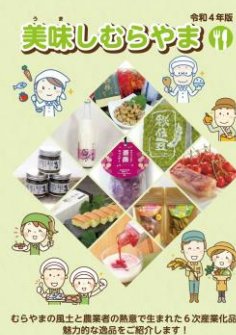
- 「むらやま農産加工技術研修会」等を通し、総合支庁、農業総合研究センター等と民間事業者とが連携し、消費者ニーズを捉えた売れる農産加工品の開発に対し支援(R3:11商品化)
⇒ 参加者からは「消費者が求める“手軽さ”に応え、かつ保存性が高い加工法をもっと知りたい」との声
- R4は県産果実のセミドライフルーツ加工技術研修等により、村山地域産農産物を活かした新たな加工品開発を支援



上:見本市の様子
下:展示商品「薔薇のソース」

「美味しむらやま」見本市の開催

- 村山地域の農産物を活用した農産加工品を集めた「見本市」をR3初開催(20件の取引成立)
⇒ 参加者からは「アドバイスを次のステップにつなげたい」との声
- R4は、更なる取引拡大を目指し、商品の魅力アップを目的としたセミナーや見本市を継続開催し、農産加工品の売上げ増を図る。
- 県内の小売店や一般県民向けにカタログを作成し商品の魅力をPR



むらやまの風土と農業者の熱意で生まれた6次産業化品。魅力的な逸品をご紹介します！
農産加工品カタログ

地域農産物の理解促進・地産地消



やまがた野菜料理フェアの開催

- やまがた野菜を使ったオリジナル料理を提供する「料理フェア」を開催(R3:22の協賛店で3,592食提供)
⇒ アンケート回答者の約4割が「料理フェアで初めてやまがた野菜を知った」とのこと(更なる情報発信が必要)
- R4はイタリア野菜を加え、夏と秋の2回開催するほか、アル・ケッチャーノ コンチェルト(山形市)でのオープニングイベントや山の日イベントと併せて野菜直売会を実施し、認知度向上を図る。



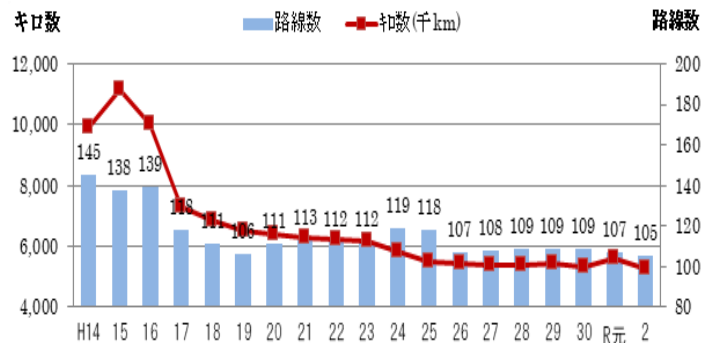
やまがた野菜収穫体験の実施

- 地域の子どもたちが地域の農業や食文化を学ぶとともに、やまがた野菜の認知度向上・魅力発信を図るため、子姫芋・もっののほか・セルリーの収穫体験を実施(R3:25組50人の親子等が参加)
⇒ 参加者からは「やまがたの食べ物に愛着を感じた」などの声
- R4も収穫体験を継続実施し、やまがた野菜の魅力を発信する。

3 地域公共交通の取組み

現状

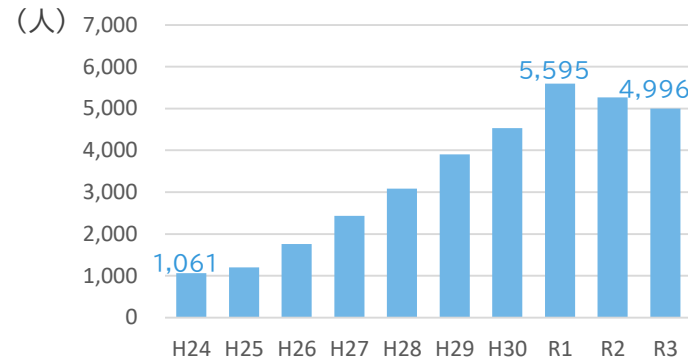
- 少子高齢化や過度の車社会の進展による**バス路線の廃止や減便**



生活交通路線数及び実車走行キロ数の推移（山交バス運行路線等）

出典：県総合交通政策課調べ

- 高齢化社会の進展による**運転免許自主返納の増加**



県内運転免許返納者数推移

出典：運転免許統計（県警）

高齢者、学生等の日常生活の移動手段の確保が急務

西村山地域広域連携協議会での公共交通ワーキングチームの立ち上げ

【西村山管内1市4町】

公共交通の路線減少→各自治体個別に市町営バスやデマンド交通を運行

しかし

西村山は小規模自治体が多いため、**生活圏が自市町内で完結しない。**

【例】朝日町の学生が谷地高校に通学

大江町の方が寒河江市の病院に通院

課題解決には広域で連携して取り組むことが必要

1市4町(寒河江市、河北町、西川町、朝日町、大江町)

山形大学

西村山地域広域連携協議会
公共交通ワーキングチーム

西村山広域行政事務組合

村山総合支庁

- H29に西村山地域振興局が中心となり、連携協議会及びワーキングチームを立ち上げ(県及び1市4町で費用負担)
- 学識経験者(山形大学人文社会学部砂田教授等)の指導を仰ぎながら、取組みの方向性や実践手法を検討⇒**実態調査・実証運行**

3 地域公共交通の取組み

西村山地域広域連携協議会での取組み



大江町乗合タクシーの寒河江市立病院への延伸(実証運行)

現状

大江町から寒河江市立病院へ通院している方が多いが、大江町乗合タクシーは左沢駅までで、山交バスやJRでの乗継ぎが必要

高齢者等の乗継負担が大きく、12時半～15時過ぎまでは移動手段がないことが課題

R3(1年目)

- 試験運行(R3.12～R4.2)
- 3か月間で延べ53人が利用。利用者からは好評で一定の成果

R4(2年目)

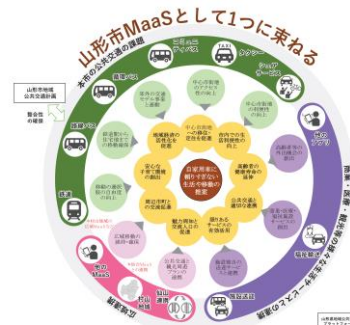
- 調査期間を6か月(R4.9～R5.2)に伸ばし、冬季間以外の需要も調査
- 調査及びアンケート結果を踏まえて、大江町において本格運行するかを検討

管内での新たな取組み



コミュニティバスへのCherica導入【山形市】

- 地域連携ICカード「Cherica」のサービス開始(5/14)に合わせ、コミュニティバス東部・西部循環線の計4台に対応機器を導入
- 70歳以上の市民が購入補助を受けられるシルバー定期券も同日からチェリカに変更



MaaS導入方針の策定【山形市】

- R4.3月に「山形市MaaS導入方針」を策定(取組期間:R4～R8)
- MaaS:利用者が多様な交通サービスに対して「1つのサービス」としてアクセスし自由に選択できるようにすること。(検索・予約・決済等の一本化)



観光ワンコインタクシーの導入【寒河江市】

- 市内観光の利便性向上を図るため今年4月から導入。観光施設間のタクシーでの移動が1台につき500円に。
- 対象施設は、慈恩寺、観光くだもの園、道の駅寒河江等

4 高速道路開通を契機とした取組み



開通による効果

① 産業

定時性の向上に伴う企業の進出



(写真は「かみのやま温泉IC産業団地」)

② 観光・交流

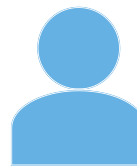
アクセス向上による観光入込数の増



(写真は「賑わう蔵王温泉街の様子」)

課題

東北中央自動車道の開通の認知度向上



R4村山創生懇談会
出席者の方
(蔵王温泉女将)

関東から来るお客さんが、東北中央道が開通していることや無料区間があることをあまり知らない。

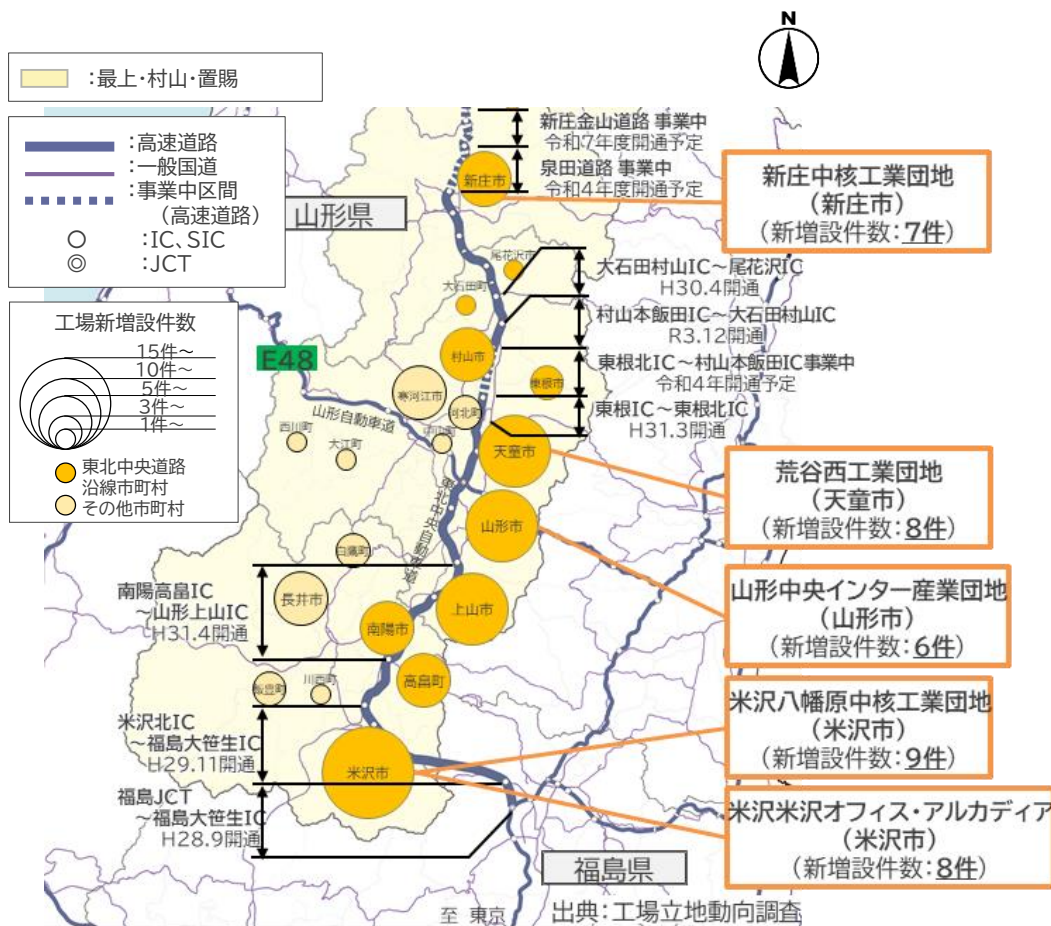
JTBのパフレットの校正をさせていただいた時に、未だに村田JCTから山形道に入ると書いてあってびっくりした。

仙台圏や関東をターゲットに、開通と村山地域の魅力を発信し、利用拡大と経済・観光の交流を促進していく。

4 高速道路開通を契機とした取組み

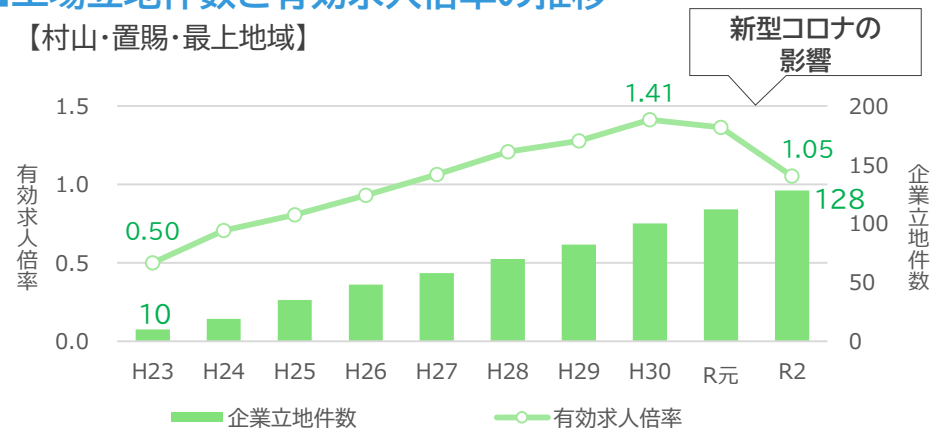
- これまで、東北中央道の開通に伴い、沿線地域では工場立地が著しく進展。米沢市から天童市までの全線開通区間沿線でその傾向が強い。
- 沿線の工場立地とともに、有効求人倍率及び製造品出荷額が増加傾向で推移

■東北中央道沿線の工場立地状況(H23~R2)



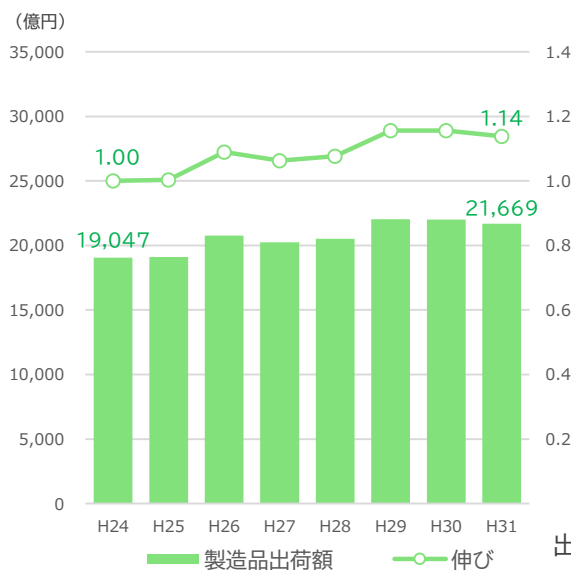
■工場立地件数と有効求人倍率の推移

【村山・置賜・最上地域】



■沿線地域の製造品出荷額の推移

【村山・置賜・最上地域】



4 高速道路開通を契機とした取組み



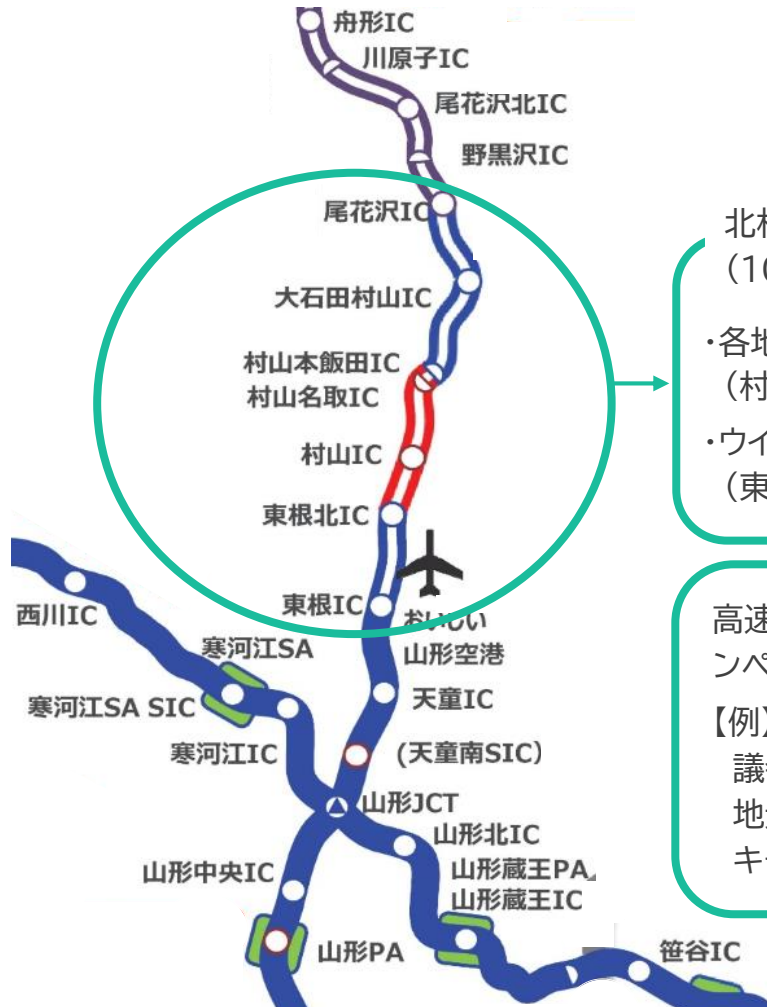
最上川舟下り



山寺



蔵王お釜



北村山の主な見どころ
(10~12月)

- ・各地のそばまつり
(村山、尾花沢、大石田)
- ・ウインターフェスティバル
(東根)

高速道路を活用したキャン
ペーンの検討

【例】やまがた広域観光協
議会による利用者への
地元特産品プレゼント
キャンペーン



銀山温泉



そば畑



ウインターフェスティバル

- 北村山の目的地(観光地・宿泊施設)へ最短時間で到着できる。
- 無料区間を利用し、県内の広域的な観光地へのアクセスが容易になる。

広域周遊の促進

北村山の観光地の魅力・満足度の向上

4 高速道路開通を契機とした取組み

仙台圏や関東をターゲットにしたPR活動の強化



新たなパンフレットによる仙台圏のイベント等でのPR

- 「仙台となり村」のパンフレットを、北村山地域の市町及び観光物産協会と連携し、高速道路開通情報を含む内容にリニューアル(R4.7月)
- 仙台圏でのイベント等において、パンフレットを活用し、高速道路を利用した村山地域の楽しみ方を提案

【例】温泉のはしご、各地のそば街道・産直めぐり、スタンプラリーの実施等

セールス活動によるPR

- やまがた広域観光協議会による関東の旅行会社等へのセールス活動及び高速道路開通のPR
- 教育旅行誘致のセールス活動における高速道路開通のPR

※活動地域：北海道、東京、名古屋、大阪、福岡等

※教育旅行素材紹介シート(R4.3月作成)を活用して今年度からセールス活動を実施



教育旅行素材紹介シートの例

開通周知の取組み



那須高原SA(R3)

ボックスティッシュによるPR

- 東根北IC～村山本飯田IC間の開通をPRするためのボックスティッシュを作製
- 宮城・秋田・福島や北関東の道の駅、サービスエリアのフードコート等に設置し周知を図る。



道の駅福島まつり(H30)

横断幕によるPR

- 新庄北IC※～昭和IC※間の開通も令和4年度内の予定であることから、高速道路整備推進室・最上総合支庁と連携し、開通をPRするための横断幕を作製 ※IC名は仮称
- 村山・最上管内の各公所・関係施設やイベント会場にリレー方式で掲示し周知を図る。

道路情報板への表示

- 管内の県管理道路の道路情報板に開通情報を表示
(本庁舎15か所、西庁舎9か所、北庁舎4か所)

【表示例】

○月○日開通決定！
東根北IC～村山本飯田IC



5 地域の話題



「山の日」全国大会の開催

- 8/10、11に蔵王を主会場に、北海道・東北地域で初開催
- 村山地域の観光(物産)協会が企画する「山の日」関連の旅行商品に対し支援することで観光誘客を図る。
- 「蔵王 暁登山」(7月29日)
- 「蔵王御釜マジックタイムツアー」(8、9月に実施予定)
- 月山周辺の山を満喫する旅行商品
- 御堂森・翁山の登山道整備



サマースキージャンプ山形蔵王大会の開催

- 8/19、20に蔵王ジャンプ台において県内初開催
- 国内の一線級ジャンパーを含む計120名のエントリーが予定されており、サマースキージャンプ大会としては国内最大規模となる見込み
- 観戦無料で2日間で約1,000人の来場を見込む。



やまがたクリエイティブシティセンターQ1の整備

- 山形市立第一小学校旧校舎(山形まなび館)をリノベーションし、9月オープン予定
- 施設整備は山形市、運営は東北芸術工科大学の教授らが中心となって作る民間団体が担う。
- 内部には、カフェ、ショップ、レンタルスペース、オフィス、動画配信スタジオ、オープンアトリエ等を整備



Link MURAYAMAのプレオープン

- 県立楯岡高校跡地をリノベーションし、7月22日にプレオープン。グランドオープンは11月予定
- 運営は村山市直営
- 内部には、コミュニティスペース、コワーキングスペース、オフィス、ゲストハウス、メディカルフィットネスジム、子供の遊び・スポーツの場等を整備

